

皆さんこんにちは！新しい1年が始まりましたね。本年もよろしくお願いいたします。

今回の“にこにこ子育て”は…**お手伝い特集**です。

冬休み期間中にお手伝いに取り組んだお子さんも多いのではないのでしょうか？冬休み限定ではなく、外出自粛が継続される今だからこそお子さんに家事を任せてみて、お手伝いのレベルアップを試みてはどうでしょうか(^)/

お手伝いは生きていく上で最低限必要な家事を学ぶ一歩です。

小さい頃から出来るお手伝いはあります。お子さんの発達段階にあわせたお手伝いに挑戦しましょう！そして、小さい頃から少しずつお手伝いをする習慣を身につけましょう！

●●●●●お手伝いの発達段階●●●●●



1～2歳
お手伝い開始期

安全・簡単なお手伝いから覚えます
お箸並べ、おもちゃの片付け など



3～4歳
お手伝いチャレンジ期

遊びの一環として楽しみながら出来る事が増えます
簡単な洗濯物たたみ(タオルなど)、拭き掃除 など

5～6歳
お手伝い発達期

家電などの道具も使い始める事が出来ます
掃除機掛け、食後の食器運び など



7～8歳
家事分担移行期

家族の一員として家事分担の役割を持ち始めます
お風呂掃除、料理の手伝い など



引用：キッズデザイン製品開発支援事業(経済産業省)による子育て住宅調査



お手伝いのポイント

◆ 簡単な事からスタートし、沢山褒めて、お子さんの出来る事を増やしましょう。

◆ 褒める時には感謝の一言を添えましょう。

◆ 時間や気持ちに余裕がある時には、お手伝いのやり方を丁寧に教えましょう。

◆ できるようになった事は任せましょう。



“家事”とは??

“家事”となると、掃除や洗濯、料理といったイメージがあると思いますが、家庭生活を営む為の全ての仕事が家事です。

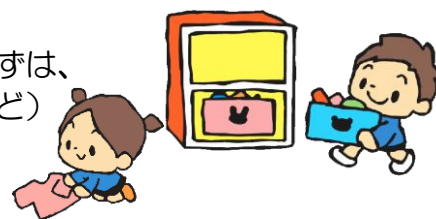
カーテンを開ける・閉める、玄関にある靴をそろえる、トイレトーパーの補充、食前に食卓を拭く、箸を並べるなど…名もなき家事は沢山あるのです!!!

家族皆で、この名もなき家事を分担する事によって負担は減ります。そして、家事を行った人に「ありがとう」を忘れず言いましょう♪

お手伝いのコツ

◆子どもがやいたがる事を

子どもが教えてほしいという思いになる事はとても重要です。まずは、お子さんの興味があるお手伝いのカテゴリー（掃除、洗濯、料理など）を見つけ、その中で発達にあった家事を選んでみましょう。



◆動作を区切って、一連の流れを見せる

ひとつひとつの動作を区切って一連の流れを教えましょう。その家事の注意点やコツを沢山言ってしまうとお子さんは混乱してしまいます。ひとつに絞って伝えましょう。

◆途中で口出しや訂正はしません

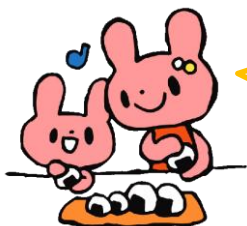
一連の流れを見せたら、とりあえず最後までやらせてみましょう。お子さんが上手くできず、自分でやった方が早い！と思っても、途中で手を出したり口出ししてしまうと、お子さんのやる気は下がってしまいます。

間違っていた時には、手順をもう一度一緒にやってみて繰り返し覚えてもらいましょう。



◆できたら褒める

お手伝いのポイントでもありましたが、とても大事な事です。褒められる事は次へのモチベーションに繋がります。「玄関が綺麗になった！」などの結果を褒める事も大切ですが、お手伝いをしている過程でも褒める事で次への動作がスムーズになります♪



お手伝いは家事を学ぶ一步でもありますが、お子さんの責任感や自己肯定感が高まる事にも繋がると思います。また、お子さんのお手伝いを通して、親子のコミュニケーションの場にもなりますね♪

孫育て

孫育てを頑張るおじいちゃん、おばあちゃんへ
孫育てに役立つ情報をご紹介します♪



「甘やかす」と「甘えさせる」の違い

可愛いお孫さんに好かれない一心で何でも言う事を聞いてあげるのが「甘やかす」ことです。

愛情がほしい、認めてほしいというお孫さんの思いに答えてあげる事が「甘えさせる」ことです。

「甘え」を必要としているのが、おじいちゃん、おばあちゃんなのかお孫さんなのかという点が違いとなります。お孫さんに愛情を注ぎ、自尊心を育てる甘えさせは必要なものですが、お孫さんを喜ばせるために必要以上の愛情を注いでしまう甘やかしには要注意です！

子育て支援課通信「にこにこ子育て」
発行者・問合せ先：金ヶ崎町子育て支援課
住所：〒029-4503 金ヶ崎町西根鍮水 53
Tel：44-4611 fax：44-4337
メール：kosodate@town.kanegasaki.iwate.jp

子育てに役立つ情報を「にこにこ子育て」として定期的に発行しています。

ご意見やご感想、子育てに関する悩みなど…皆さんの声をお聞かせ下さい。